

第2学年 生活科学習指導案

日 時 平成27年10月8日(木) 6校時
児 童 男子7名 女子5名 計12名
指導者 宮本ひろみ

1 単元名 作ってためして

2 単元について

(1) 指導の目標と教材観

本単元は、学習指導要領の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定したものである。

本単元は、身近にある物を使って、遊びに使う物を工夫して作ったり、遊び自体を工夫したりするものである。また、友だちと遊んだり、教え合ったりしながら、自分なりに工夫することを通して、動くおもちゃの面白さに気付くことができるとともに、遊びを工夫しながら、みんなで遊ぶ楽しさを味わうことができる。自分の創意を生かし、自分の手でおもちゃを作り上げた満足感を味わうことで、さらに自分の生活を豊かにしていこうという実践的な態度が育つと考える。

(2) 児童観

児童は、これまで、生活科の学習では、自分の気づきを表現させたりグループで活動させたりしてきた。友だちの気づきを認めたり、協力し合ったりする態度が少しずつ見られるようになってきた。

1年生のときに自然を利用した遊びや制作を楽しんでいる。アンケートを実施したところ、物を使っておもちゃを作ることが「好き」と答えた児童は67%であり、おもちゃを作ってみんなで遊びたいと思う児童は、90%であった。おもちゃ作りに対する意欲は個人差がみられた。作ったおもちゃを使ってみんなで遊びたいという意欲は多くの児童がもっていることが分かった。「どんなおもちゃを作りたいか」という問いに対しては、ほとんどの児童は具体的なイメージを持つことができず、作りたいとは思っているが実際作るとなるとどのようなものを作ればよいのかイメージが湧かないという実態もある。

(3) 指導観

本単元では、1年生を招待したおもちゃまつりを開くことを目的として、身近な物を利用したおもちゃ作りを行っていく。どのような素材があるのか、何を動力とすることができるのか、様々な物に触れてみることで想像の幅を広げさせ、個々におもちゃの作り方を考え制作に取り組みさせる。児童の気づきの質を高める手立てとして、遊ぶ活動を繰り返したり、少人数グループを作り、遊んでみたり意見を交流したりすることで、より良いものに仕上げるための気づきを促していきたい。児童が制作を振り返る手立てとして、活動の過程や友だちとの比較での気づきをカードに書き込み、児童の思考の流れや深まりを自覚させたい。それ

らの手立てを通して、単元の振り返りには工夫して物作りをすることの楽しさ、協力することの大切さに気付き、これからの生活につなげていくことができるようにする。

＝気付きの質を高める学習活動＝

- ①おもちゃづくりや遊ぶ場を繰り返し設定する。遊びの工夫や動力や仕組みなどについての気付きの質が高められるとともに、科学的な見方や考え方の基礎を養うことにもつながる。(試行錯誤や繰り返す活動)
- ②わかったこと、発見したことを伝え合う場を設けて交流し、自分の体験と比べて考えさせるようにする。友だちの気付きに対して、どのように考えたのか書いたり話したりさせることで気付きの質を高めていく。(交流する場の工夫)

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

身近にある物を使って、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、そのおもしろさに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

(2) 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ○身近な物を利用した遊びに関心をもって遊ぼうとしている。 ○身近な物を使って、遊びや遊びに使う物を作ろうとしている。 ○友達と関わりながら、みんなで楽しく遊ぼうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な物で動くおもちゃを作るために、考えたり工夫したりしている。 ○遊びの約束やルールなどを考え、遊びを創り出している。 ○遊びを工夫したり、友達と関わって遊んだりしたことを振り返り、自分なりの方法で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な物を利用して遊べることに気付いている。 ○遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。 ○友達と関わって遊ぶ楽しさ、友だちの良さに気付いている。

4 単元の指導計画（15時間）

	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準及び評価の方法
出会う	1	1 作ってためして ・遊んだ経験を想起したり、用意したおもちゃで遊んだりする。	・児童の意欲を喚起するために、手作りおもちゃを用意し、遊ぶ場を設定する。	【気】身近な物を使ったおもちゃで楽しく遊べることに気付いている。(発言、観察)

	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムをひっぱったらとんだぞ。 ・くうきがでたら動いた。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕組みで遊べるのか考え、話し合う。 ・作りたいおもちゃについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動く仕組みや動力に関心をもたせる。 	<p>【思】 おもちゃの仕組みについて、考えている。(発言、観察)</p> <p>【関】 遊べるおもちゃに関心を持ち、自分でおもちゃを作ろうとしている。(発言、観察)</p>
か か わ る	3	<p>2 計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ちよった材料をもとにおもちゃを考え、計画書を作る。 ・必要な道具や材料を準備する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・空箱がほしいね。 ・ペットボトルもいいね。 ・給食のカップを使おう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の性質を生かしたおもちゃを考えさせる。 ・教科書だけでなく、おもちゃの作り方に関する図書をそろえる。 	<p>【関】 材料をもとに動くおもちゃの作り方を考え、作ろうとしている。(観察、カード)</p>
	4 5 本 時 6	<p>3 作って遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書をもとに、おもちゃを作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたらよく回るかな。 ・速く走らせるにはどうしたらいいかな </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作ったもので遊んでみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具を適切に扱えるようにさせる。 ・似た種類のおもちゃや動力が同じグループを作り、互いに助け合って作れるようにする。 	<p>【思】 友達と比べたり、試したりしながら動くおもちゃを工夫して作っている。(カード、観察)</p> <p>【気】 おもちゃが動く仕組みに気付いている。(作品、観察)</p> <p>【関】 自分が作ったおもちゃで楽しく遊ぼうとしている。(観察、聞き取り)</p>
	7	<p>4 作ったおもちゃを工夫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のおもちゃと競争したり、比べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に遊ぶことができる場を設定する 	

	8	<ul style="list-style-type: none"> 友だちのおもちゃのいいところを見つける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> Aさんのロケットは遠くに飛ぶよ。 B君の車は速いね。 </div> <ul style="list-style-type: none"> おもちゃをよりよくするためにはどうしたらいいのかを考える。 おもちゃをよりよくするために、手直しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見つけた良さを発表し合う場を設定する。 交流では、聞き手を意識した話し方や聞き方を大切にする。 <ul style="list-style-type: none"> よりよくするための視点を示して考えさせる。 	<p>【気】 友だちの良さ、自分との違いに気付いている。(発言、観察、カード)</p> <p>【思】 おもちゃをよりよくするための工夫を考えたり、作業をしたりしている。(発言、観察、作品)</p>
ひろげる	9	5 おもちゃまつりをしよう①	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見ながらどのような準備が必要なのか見通しをもたせる。 	<p>【思】 作ったおもちゃで楽しく遊ぶ方法を考えている。(観察、作品)</p>
	10 11 12	6 おもちゃまつりをしよう②	<ul style="list-style-type: none"> みんなが楽しめる活動や内容を工夫させる。 	<p>【関】 進んでおもちゃまつりの準備をしている。(発言、観察、カード)</p>
	13 14	7 おもちゃまつりをしよう③	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや1年生と楽しく関わらせる。 	<p>【関】 友だちと一緒におもちゃまつりを楽しんでいる。(観察、カード)</p>
	15	8 おもちゃまつりをしよう④	<ul style="list-style-type: none"> 活動を振り返り、感じたことを表現する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> みんなと遊ぶのは楽しいね。 ルールを作ると楽しく遊べるよ。 </div>	<p>【思】 活動を振り返り、感じたことをカードなどに表現する。(作品)</p> <p>【気】 おもちゃまつりを開くために必要なことや、自分たちでも協力したり、工夫したりすると楽しめることに気付いている。(発言、観察、カード)</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

自分なりに考えたり、友達に教えてもらったりすることにより、よりよく動くおもちゃになるように工夫して、作ることができる。

(2) 指導にあたって

- ・よく動くおもちゃにするために、制作活動において試行錯誤を繰り返したり、同じ動力のおもちゃと比べたりさせる。
- ・友だちの工夫のよさに気付かせるために、同じ動力を使う児童でグループを作り、互いに教え合いながら制作させる。

(3) 本時の評価規準

観点	評価規準（評価方法）	努力を要する児童への支援
思考・表現	友だちのおもちゃと比べたり、試したりしながら動くおもちゃを工夫して作っている。（カード、観察）	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の模型と自分のおもちゃを比べ、よく動くおもちゃの仕組みに気付かせる。 ・よく動くおもちゃになるように相談にのったり、手伝ったりする。

(4) 展開

段落	学習活動・児童の反応	指導上の留意点（◎評価 ◇研究）	・準備
出会う 10分	1 前時の活動を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。 うごくおもちゃをつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図をもとに、動くおもちゃを作ることを確認する。 ・よく動くおもちゃを作るには、どの部分に気を付ければいいのかをおさえる。 	・準備
かかわる 30分	3 活動の見通しをもつ。 4 よく動くおもちゃになるように工夫して作る。（前半） ・もっとゴムをまくといい。 ・空気がもれにないようにきつくするといい。 ・おもりを真ん中につけるといい。	<ul style="list-style-type: none"> ・よく動くおもちゃの動きを模型で確認する。 ◇試行錯誤を繰り返したり、友だちのおもちゃと比べたりして改善点を見つけ、よく動くおもちゃを作ることができるようにする。 ◇グループごとに聞いたり、教え合ったりしながらよく動くおもちゃを作ることができるようにする。 ・教師が巡回しながら、アドバイスの視 	・道具や材料の図 ・模型

	<p>5 工夫したり、直したりしたところを発表する。</p> <p>6 よく動くおもちゃになるように工夫してつくる。(後半)</p>	<p>点を与えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体交流させることにより、同じ動力の仕組みの共通点や他の動力の仕組みについて気付くことができる。 話し合いを受けて、より良く動くおもちゃを作ることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎よく動くおもちゃになるように自分なりに考えたり、友だちに教えてもらったりして工夫して作っている。</p> </div>	
<p>まとめ 5分</p>	<p>7 気付いたことを中心に感想を書き、発表する。</p> <p>8 次事の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだことを振り返りカードに書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> カード

(4) 板書計画

うごくおもちゃをつくろう

材料と道具の
説明図表

写真
ゴムおもちゃ

写真
空気おもちゃ

写真
おもりおもちゃ

よくうごくために

ゴム

・多くまく・ふといゴム

空気

・もれないように

風

・まっすぐあてる・強くあてる。

おもり

・バランスよく